

# CASBEE<sup>®</sup>-建築(新築)

## 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	近畿車輛株式会社 新台車枠工場	階数	地上3F
建設地	東大阪市稲田上町2丁目2番46号	構造	S造
用途地域	都市計画区域内市街化区域	平均居住人員	220 人
気候区分	5地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年9月 予定	評価の実施日	2015年9月18日
敷地面積	157,689 m <sup>2</sup>	作成者	近鉄軌道エンジニアリング(株) 沼田博
建築面積	1,525 m <sup>2</sup>	確認日	2015年9月18日
延床面積	4,563 m <sup>2</sup>	確認者	近鉄軌道エンジニアリング(株) 沼田博志



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (138 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 87% (120 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

③上記+②以外の 87% (120 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

④上記+ 87% (120 kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境: 3.1

Q2 サービス性能: 3.1

Q3 室外環境(敷地内): 1.8

LR1 エネルギー: 3.5

LR2 資源・マテリアル: 3.2

LR3 敷地外環境: 3.2

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.7

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.3

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境 内装材は全面的にF☆☆☆☆を使用	Q2 サービス性能 外壁仕上材、内装仕上材に耐用年数の長いものを使用	Q3 室外環境(敷地内)
LR1 エネルギー LED照明設備の設置	LR2 資源・マテリアル 自動水栓、省水型器具の使用	LR3 敷地外環境 LCCO <sub>2</sub> 排出率=87%

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0052

Osakafu-新築・既存 2015V1.02

<b>【建物概要】</b>	建物名称	近畿車輛株式会社 新台車枠工場他増築工事(事務所棟)					
	建設地	東大阪市稲田上町2丁目2番46号					
	用途/区分	事務所					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					2	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
	エネルギー消費量の報告					報告しない	

<b>【評価項目】</b>				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.5	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」のスコアによる評価 建物全体	3.0	3
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	4.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
<b>その他</b>				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				